

国際ガラス年(2022)について 採択までの経緯と概要 GIC国際ガラス年支援WGへのお願い

The AGC logo is displayed in a white box on a dark blue background. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and the 'G'.

国際ガラス年日本実行委員会事務局長 吉田智
(国際ガラス委員会 Steering Committee)

AGC株式会社

AGC株式会社 材料融合研究所

2021年 8月24日

Your Dreams, Our Challenge

- 国際ガラス年採択までの経緯
- スケジュール
- 国際ガラス年日本実行委員会とその分科会について
- GIC国際ガラス年2022支援WGへの依頼事項について

国連の採択する「国際年」とは

1959 年以降、国連はある特定分野の活動について、その国際社会への貢献を周知、促進するため「国際年」を宣言している。

例：

1975年 国際婦人年



1979年 国際児童年



1981年 国際障がい者年



2015年 光および光技術の国際年



INTERNATIONAL
YEAR OF LIGHT
2015

2019年 元素周期表の国際年



- 2018年 ICG 横浜（国際ガラス委員会年会）にて、前ICG会長Choudhary氏@Corningが、現会長Alicia Duran教授に「国際ガラス年」の採択を目指すことを提案。
- 2018 - 2020年 各国で国際ガラス年の賛同書が集められ、5大陸80か国より 1600もの賛同書が集められた。（日本では、78機関より賛同書を頂く。）

国際ガラス年は、2020年9月国連総会にて宣言される予定であったが、**コロナ禍**等の問題により複数回の延期される。

- 2020年12月9日 **国際ガラス年日本実行委員会** 第1回会議開催（2021.2セラ協内組織として承認）
- 2021年5月18日 国連総会にて、**「国際ガラス年2022」の決議案が採択。**



80か国から1600通の賛同書が提出



North and Central America

40 Academic Institutions
38 Associations
62 Companies
64 Museums and artists
6 R&D Centres
7 Countries

South America

36 Academic Institutions
6 Associations
16 Companies
61 Museums and artists
9 R&D Centres
8 Countries

Europe

96 Academic Institutions
97 Associations
148 Companies
89 Museums and artists
40 R&D Centres
34 Countries

Africa

25 Academic Institutions
5 Associations
6 Companies
3 Museums and artists
3 R&D Centres
9 Countries

Asia

117 Academic Institutions
39 Associations
180 Companies
21 Museums and artists
24 R&D Centres
20 Countries

Oceania

6 Academic Institutions
9 Associations
14 Companies
3 Museums and artists
2 Countries

80 Countries of the 5 continents

ガラス材料およびガラス産業の、
過去、現在、未来を称え
祝福すること。

ガラスの科学と芸術と文化に関わる
世界の**様々なイベント**に取り組むこ
と。



産学のガラス研究，ガラスに関わる
博物館や美術館の取り組みにより，
世界のあらゆる地域における**持続性**
のある発展に貢献すること。

次世代を担う**若者のためのガラスの**
科学と工学にかかる**国際協調の枠**
組みを作ること。

国際ガラス年で計画されていること（2022年）

オープニング会議	スイス・ジュネーブ	2月10-11日
国際高度技術産業会議	中国・上海	4月11-15日
国際ガラス会議（および DGG100周年記念会議）	ドイツ・ベルリン	7月3-8日
国際ガラス芸術展	米国	6月
クロージング会議	日本	12月8-9日

（12/6-7 東大駒場にてガラス討論会、12/8-9安田講堂にてセレモニー）

その他： 「ファラオから先進技術まで」エジプト 5月、各国の提案イベント など

Intl. J. Appl. Glass Sci. 記念号

J. Sol-Gel Sci. Tech. 記念号

J. Non-Cryst. Solids 記念号

EOF

実行委員長： 京都大学教授 田部勢津久
実行副委員長： 東京大学教授 井上博之
実行委員： 東京工業大学教授 矢野哲司
(2022年度ガラス部会長)
北海道大学教授 忠永清治
弘前大学准教授 増野敦信
東北大学教授 藤原巧
東京理科大学教授 曾我公平
東京都立大学教授 梶原浩一
豊橋技術科学大学教授 松田厚範
豊橋技術科学大学准教授 河村剛
富山高等専門学校教授 袋布昌幹
名古屋大学教授 大槻主税
名古屋工業大学教授 早川知克
滋賀大学教授 徳田陽明
京都大学教授 藤田晃司
大阪府立大学教授 林晃敏
大阪府立大学教授 高橋雅英
岡山大学教授 難波徳郎
愛媛大学教授 武部博倫
九州大学教授 藤野茂
富山市ガラス美術館 土田ルリ子
シュレーディングー株式会社 (元東京工業大学) 巾崎 潤子
北海道大学准教授・AGC株式会社 小野円佳

産業技術総合研究所関西センター 赤井智子
物質・材料研究機構 小原真司
物質・材料研究機構 瀬川浩代
北海道立総合研究機構 稲野浩行
東京理科大学 前田敬
日本電気硝子株式会社 山崎博樹
日本板硝子株式会社 斉藤靖弘
(一社)ニューガラスフォーラム専務理事 松野好洋
AGC株式会社 吉田智 (…事務局長)
長岡技術科学大学准教授 本間剛 (…副事務局長)
名古屋工業大学准教授 大幸裕介 (…副事務局長)

アドバイザー：

京都大学名誉教授 平尾一之
長岡技術科学大学名誉教授 小松高行
大阪府立大学学長 辰巳砂昌弘
東京理科大学教授 安盛敦雄
名古屋大学教授 中西和樹
名古屋工業大学教授 春日敏弘
京都大学教授 田中勝久
関西大学教授 幸塚広光
滋賀県立大学教授 松岡純
元AGC株式会社 中尾泰昌
東京大学教授 清家剛

ICG作成動画公開 (2020.12.3)
<https://youtu.be/A6ZEaWvlz6k>



Worldwide presentation of the United Nations International Year of Glass 2022

日本語字幕版 (2021.2 実行委員会で作成)
<https://youtu.be/rWNZawSJck0>



IYOG2022 japan